

第23回 観てさわって 科学, 体験 2016 フェスティバルの参加報告

フェスティバル参加委員会

委員長	政岡 孝	(実習工場)
副委員長	鎌田 浩子	(自然科学系技術班)
委員	徳永 賢一	(機械・環境建設系技術班)
委員	黒河 久悦	(電気電子・情報系技術班)
委員	森 雅美	(化学・材料系技術班)

1. はじめに

「第23回 観てさわって 科学, 体験 2016 フェスティバル」が11月12, 13日の2日間にわたり開催されました。この催しは、大学が地域社会と連携し、子供たちを中心に自然科学やものづくりの楽しさを通して科学に興味を持ってもらうことを目的とし、科学・技術のおもしろさを体験してもらうもので、愛媛大学理工学研究科、工学部等が、四国電力株式会社、株式会社伊予銀行と共催し、愛媛県教育委員会、松山市教育委員会等の後援を受けて実施されています。工学部等技術部では、ジャイロの教材を使い体感するとともに飛行遊具を製作しジャイロ効果を考えることをテーマに「ジャイロって何ジャイロ？」で参加しました。

2. 実施状況について

同日は、大学の学園祭も開催されており、学生さんをはじめ、多くの保護者や子供たちの参加があり、2日間の来場者は延べ500名を上回るたくさんの方々に来場いただきました。テーマである「ジャイロって何ジャイロ？」に関連する、自立歩行型のミニロボットや地球コマの展示、自転車の車輪を回転させて体感できる遊具など体験していました。その後、子供たちは飛行遊具の製作に取りかかり、翼の形や大きさ、重心などいろいろ工夫してジャイロ効果で真っ直ぐ飛ぶことを学んでいました。今回も、皆様の応援もあって大盛況で無事終わることができました。

3. おわりに

この科学体験フェスティバルに参加するにあたり、ご支援いただきました科学体験フェスティバル実行委員会、工学部総務チーム、工学部等技術部技術職員各位に厚くお礼申し上げます。



「みきゃん」の来場



製作及び飛行コーナー